



平成22年4月30日

配布先

長岡市記者会
長岡地域記者会

国土交通省 長岡国道事務所の

記者発表資料です

本誌の投込みを持って解禁

国道17号三国峠、雪崩に対する安全を確認し雪害体制を解除

(国道17号三国峠から湯沢町堀切地先まで雪崩の危険箇所をヘリコプターにより点検した結果、雪崩等の恐れがなく、安全が確認できたので、本日、長岡国道事務所道路雪害対策支部の体制を解除)

北陸の地域特性である冬期の厳しい大自然に対し、国土交通省長岡国道事務所は、警察・県・市町村・東日本高速道路(株)等と連携し、雪に強く安全で円滑な道路交通を確保(常時2車線以上の幅員確保)するために、全力で対応してきました。

4月26日に国道17号三国峠(群馬県境部)から湯沢町堀切地先の斜面をヘリコプターにより雪崩の専門家等と長岡国道事務所とで現地を点検した結果、若干の斜面雪の処理が必要な一部の箇所を除き、雪解けによる雪崩発生のおそれがないことを確認しました。4月30日の午前中に必要な処理が完了したことから、4月30日、12時を以て、長岡国道事務所道路雪害対策支部の体制(平成21年11月1日に発令)を解除しました。(昨年は4月24日に解除しており6日遅い)

《今冬の特徴と対応》

- 除雪車の初出動は11月2日(昨年より18日早い)
- 今冬では、昨冬より降雪は非常に多く約2倍であったものの、過去10年平均と比べると、ほぼ平年並みの降雪でした(長岡国道管内平均)。

- 昨冬と今冬の累計降雪量の比較—昨冬:289cm、今冬:594cm[2.06倍]
 - 過去10ヶ年平均と今冬の累計降雪量の比較—過去10ヶ年平均:576cm、今冬:594cm[1.03倍]
- ※上記の数値は、長岡国道事務所管内の12箇所の雪量観測所の平均値です。

○今冬は、降雪量としては平年並みでしたが、特に海岸部や平野部で短期集中的な降雪があったことが、非常に特徴的でありました。1月中には、1日(24時間)で降雪量が80cmを超える箇所が発生し、長岡国道事務所は雪害対策支部の注意体制を発令し、冬期の道路交通確保のため万全を期すべく、その対応にあたりました。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 副所長(管理) 相村 成一
〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1
TEL 0258-36-4551(代)内線205/FAX 0258-36-4660

パソコンはこちらからアクセスして下さい <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku>
携帯電話はこちらからアクセスして下さい <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/i>



国道17号から見た斜面の状況

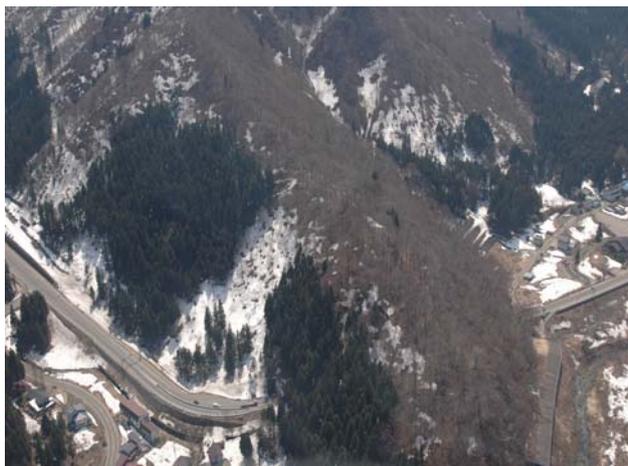
(平成22年4月26日撮影)



①湯沢町三国地先(三国スノーシェッド付近)



②湯沢町三俣地先(三俣スノーシェッド付近)



③湯沢町三俣地先(八木沢トンネル付近)



④湯沢町神立地先(神立のヘアピンカーブ付近)

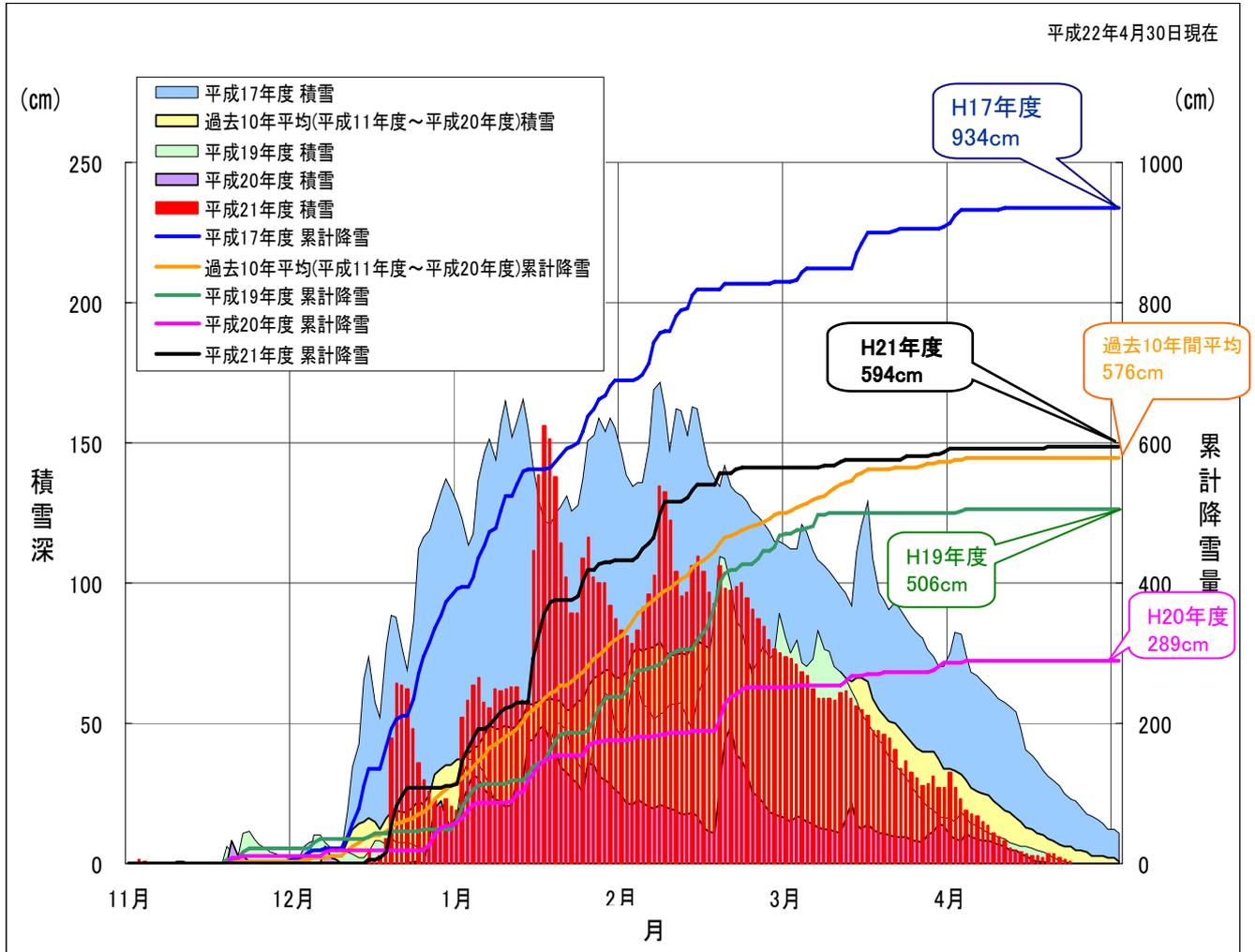
点検(写真撮影)箇所





長岡国道事務所管内の積雪深と累計降雪深

長岡国道事務所の積雪深・累計降雪量(管内平均値)



- ※1. 上記の数値は、長岡国道事務所管内の12箇所の雪量観測所の平均値です。
- ※2. 「累計降雪」は、降雪のあった最初の日から日々の降雪量を単純に足し続けた数値です。
- ※3. 「積雪」は、雪が積もっている高さの日々のそれぞれの数値です。よって、降雪の他、雪が溶けたり、雪の圧密(上部の雪の重さで雪が締められ沈下すること)により、増減するものです。